



# 根小通信

明治6年開校 (開校146年)  
 所在地: 仙台市泉区根白石字杉下前15  
 Tel: 379-2417 Fax: 379-2546  
 校長: 森 直 児童数: 107人

9月13日(金)、仙台市小学校陸上記録会(3・5地区大会)が宮城野原総合運動公園で開催され、5・6年生が参加しました。夏休み明けから練習を始めましたが、今年は天気が悪く、思い切り校庭で練習ができる日が少なかったです。そんな中でも、一人一人が自分の目標に向かって努力しました。根白石中学校陸上部の先輩からもアドバイスをいただき、記録会当日へ向けての練習に生かすことができました。選手は、精一杯競技に臨みました。また、根白石小の5年生が中心となり、福岡小・野村小の友達と一緒に応援を行いました。フィールドの中心まで声が届き、6年生の選手たちの背中を押したようです。6年生は一つ大きな行事を終え、また卒業に向けての大きなステップを一段上りました。5年生は応援の大役を果たしたことが大きな自信となり、最高学年となる来年度に向けて気持ちを新たにしました。

## 宮城野原で 輝きました!!



**【出場者・入賞者】**

<100m走>	<80mハードル>	<走り幅跳び>	<400m'ル-男子>	<400m'ル-女子>
<走り高跳び>	<ソフトボール投げ>			

## 10月の予定

日	曜	行事名
1	火	音楽朝会
2	水	地球のステージ(5・6年) 業間短縮
3	木	授業づくり訪問(全校 14:25完全下校)
4	金	読み聞かせ(1~3年) 根小スクールカウンセラー相談日
5	土	PTAボウリング大会
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	実小スクールカウンセラー相談日 学習推進日
10	木	たてわり遊び
11	金	第1学期終業式(業間短縮)
12	土	児童館まつり
13	日	
14	月	体育の日

15	火	秋季休業日
16	水	秋季休業日
17	木	第2学期始業式 発育測定
18	金	読み聞かせ(4~6年・ハロウィン) PTA本部役員会(18:30~) 守ろうデー
19	土	冠のふるさと伝承まつり(アセ踊り披露)
20	日	
21	月	代表委員会
22	火	即位礼正殿の儀(学校はお休みです)
23	水	音楽朝会・実小スクールカウンセラー相談日 業間短縮4校時限(職員研修会のため)
24	木	
25	金	学習推進日・読み聞かせ(1~3年・ハロウィン)
26	土	
27	日	
28	月	委員会活動
29	火	音楽朝会・学芸会児童公開
30	水	

## 11月の行事予定

日	曜	主な行事名
1	金	脊柱側弯症検査(5年) 学芸会準備 全校5校時限・根小スクールカウンセラー相談日
2	土	学芸会一般公開日
5	火	学芸会の振替休業日
11	月	食に関する指導(5・6年)
12	火	就学時健診 1～3年…業間短縮4校時限 4～6年…業間短縮授業 1～3年弁当持参, 4～6年給食あり

13	水	業間短縮4校時限(職員研修のため) 全学年弁当持参・実小スクールカウンセラー相談日
14	木	3年校外学習(蒲鉾工場・科学館・弁当) 4年校外学習(天文台・科学館・弁当)
15	金	6年校外学習(交流)[天文台・震災遺構・弁当]
18	月	収穫祭(4・5年:弁当持参) 代表委員会
21	木	5年校外学習(交流)[自動車工場・弁当]
26	火	学校関係者評価委員会
28	木	学校参観日(昼～放課後) クラブ

※4年校外学習[福岡大堰・弁当持参]の日にちがまだ決まっていません。決まり次第、学年便りでお知らせします。



## 復活のコースター

校長 森 直

昨年、教育誌からエッセーの原稿依頼がありました。校長としての「私の一品」というテーマです。私は、校長室の机にある「一品」について書くことにしました。少し長いのですが、全文を載せさせていただきます。

私が勤務する根白石小学校は、仙台市街地の北西に位置し、泉ヶ岳山麓に抱かれた田園の中にある児童数90名の小規模校である。特長は何といっても仙台市に唯一残る完全な木造校舎で学んでいることである。明治の洋風建築を思わせる五角屋根の突き出た玄関・黒光りしている長さ90mの真っ直ぐな廊下・ちよつとゆがんだ窓ガラスが今でも大切に使われている。

昭和5年に村の予算2年分を支出し完成した校舎は、89年間、親子三代～四代にわたり地域コミュニティの核として機能している。学芸会の後に地域の老若男女が輪になって芋煮を頬張り、子や孫の演技を称える姿はいつまでも残しておきたい風物詩の一つとなっている。校長室で地域の方が昔の学校の様子について目を細めて語って帰られるたび、この学校は「地域の一品」であると感じている。

そんな根白石小学校に勤務している私にとっての一品は、革のコースターである。ポンチと呼ばれる工具を金づちで打ち、革にハートや星形の穴を開ける。冷たい飲み物が入ったコップを載せても机は全く濡れず、すこぶる使い勝手が良い。

ボランティアとして十数年もの間、革細工教室を開いてくださっている革細工職人のSさんの指導で、毎年3年生が保護者や地域の方の手を借りながらコースターをつくらせている。そして児童会行事「七夕ふれあい祭り」に集まってくださった祖父母、地域の方、保護者にプレゼントするのだ。この日は、子供たちがホスト役となり、肩もみタイムで楽しく会話をしたり、手作りの遊びコーナーを案内したりと日頃の感謝を伝える大切な時間となっている。当然ながらこのコースターのプレゼントは大好評である。

しかし、昨年度Sさんから弱弱しい声で来年度の革細工教室中止の旨が伝えられた。体調が悪いことは存じ上げていたので仕方ないと思う反面、残念な気持ちでいっぱいだった。

4月、転入職員とSさん宅に挨拶に出掛けた。そこで見たのは肌の色艶がよくなり、目力が復活したSさんの姿だった。「校長先生、コースターもいいけれど、キーホルダーもいいと思うよ。」と話すSさんを見て心の底から安心したのを覚えている。そして7月、革細工教室でのSさんの第一声を聞き、間違いなくこのコースターが私の一品となった。

「皆さんとこうして革細工を通してふれあうことで元気をもらいます。世界で一つだけのコースターをつくりましょう。」

早坂 敏さんのご冥福を心よりお祈りいたします。

